



2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 12月 9日 月曜日	試合コード	#82
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	パークドーム熊本

結果	A	スコア		B
	SWE (スウェーデン)	34	前半	22
14 — 9				
後半				
20 — 13				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
—				
7 m c	—			
—	—			
—	—			

戦況	見出し	『多彩なオフェンスで攻め続け、好機を確実にものにしたSWEが勝利』
	前半	<p>D組2位のSWEとC組3位のROUという勝ち点で並ぶ両チーム、MAIN ROUND-Group2の試合はSWEのスローオフで開始。0分24秒、SWEはNo.20のブレイクスルーで先制すると、その後No.4の速攻、PVNo.7のシュート等で加点し、4-0と快調な滑り出しを見せる。1点が遠いROUは5分に7mを獲得するものの、これを失敗。しかし6分29秒にNo.2のポストプレーでチーム初得点を奪うと、続く7分30秒にもPVNo.21のシュートで追加点。さらに9分2秒にはNo.8が7mTを決めて4-3と盛り返した。その後は互いに得点を重ねながらも、要所で両GKのナイスセーブが光り、点差が縮まらない。ターンオーバーの応酬となる中で、15分03秒にはROUのRWNo.30がサイドシュートを決め、6-6の同点に持ち込む。しかし、ROUは16分12秒に退場者を出し、その間にエンブティーゴールを決める等して8-6と2点差をつけられてしまう。その後、SWEはNo.4のサイドシュートやNo.8のステップシュートで加点し、21分40秒までに4点差をつけ突き放しにかかるが、21分45秒にSWNo.7が2分間退場となり、ROUが22分2秒にNo.30のサイドシュートで点差を詰める。だがここでSWEはNo.4のサイドシュート、No.6のロングシュート、さらにNo.6が獲得した7mTをNo.20が決めて3連取。14-8と6点差をつける。終了間際の29分24秒、ROUはNo.22がSWNo.10から反則を受け7mTを獲得。ROUNo.8がこれを決め、14-9と5点差に詰めた所で前半を終了した。</p>
後半	<p>前半終了間際退場者を出したSWEは、数的不利の状況で後半を迎えた。ROUは後半最初の攻撃でNo.4がブレイクスルーで得点し14-10の4点差に詰める。互いに得点しながらも数的有利を生かした攻めでROUが2分20秒に3点差に詰め寄るが、ROUは2分57秒、3分17秒に立て続けに退場者を出してしまう。この間にSWEは点差を5点に広げる。ROUは8分58秒にPVNo.21が1点を返すものの、SWEに7人攻撃を凌がれてしまい、連続でエンブティーゴールを許す。互いに積極的にOFを仕掛けるが、15分までに24-16とROUは8点差をつけられる。ROUはNo.2のサイドシュート等で点差を詰め、24-18の16分44秒にSWEがタイムアウトを請求、互いに1点を加えた18分33秒にはROUがタイムアウト。終盤を目前に両ベンチ共に戦術を確認する形となった。両チームGKが決定機のシュートを阻む中で、SWEはLBNNo.15の豪快なシュートやCBNo.20のテクニックのあるステップシュート、ROUは果敢なブレイクスルーやPVが獲得した7mTをNo.21が確実に決めるなどして、得点を重ねてく。しかし、各ポジションから多彩な攻めを仕掛けたSWEがじりじりと点差を広げ、27分14秒には32-22と点差を10まで広げる。互いに6-ODFを展開し、GKの好セーブが目立った両チームであったが、最後は34-22でSWEが勝利した。プレイヤーオブザマッチは、SWNo.4のMELLEGGARD Oliviaが受賞した。</p>	



戦況作成者

清水 翼